

4. ポストンチャトル便

「学び方」に関するお便り、ありがとうございました。先生から投げかけていただいたご質問について、大学院生の吉田和樹さんより、「なるほど、正規分布ということですね」とのことでした！代わってお伝えします。

さて、今月は講座で大きなイベントが2つありました。毎年恒例の泊りがけ研究検討会と日本公衆衛生学会です。

今年の泊りがけ研究検討会（10月12日）は、奮発して「大鳥」に行ってきました。たくさんの錦鯉に迎えられ、その趣と素敵なお湯にみな癒されました。今年の発表者はンゴマ先生と藤崎先生です。特に、女性が多いいつもの研究検討会では活性化しづらい藤崎先生の研究テーマも、ほろ酔い気分の中、熱い議論が交わされました。



また、今年の日本公衆衛生学会は山口県で開催されました（10月24-26日）。山口といえば、中原中也や金子みすずなどの著名人とゆかりのある土地ですが、我々は終始、学会での学びに勤しみました。

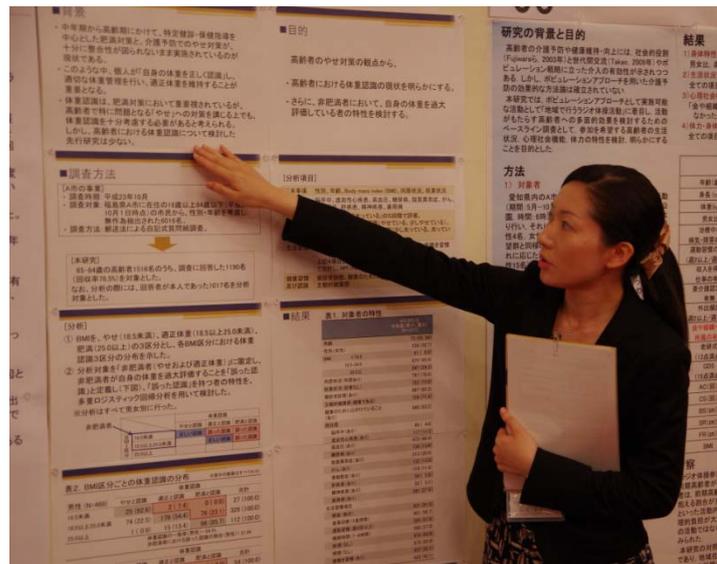
市民公開で開催されたフォーラムでは、安村教授が日本学術会議・日本公衆衛生学会・全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 合同公開シンポジウムにおいて「福島県における県民健康管理調査の概要」をご発表されました。

その時の先生のお姿を、遠くから（市民公開で、大ホールでの開催でした！）撮影したものです。



示説では、鈴木智子助教、大学院生の吉田和樹さん、そして山崎が発表致しました。

鈴木先生は、現在のご研究の一つである高齢者の体重認識に関する発表をされました。



吉田さんは震災時の保健師の対応について、山崎は閉じこもり高齢者のライフレビューの効果について発表しました。吉田さんは初めての発表でしたが、修士課程の大学院生とは思えないほどの落ち着きとしっかりとした応答でした。それぞれの雄姿をお送りします。



少し日にちが過ぎてしまいましたが、ボストンでのハロウィンの様子、楽しみにしております。

文責 山崎幸子